

# Do It Yourself

DIYとは

住まいと暮らしをよりよいものにするため  
自らの手で快適な生活空間を創造することをいう

〈一般社団法人日本DIY・ホームセンター協会の定義〉

# くらしを変える力 **DIY**

## DIYは人間生活の英知

DIYとは、Do It Yourselfの頭文字をとった言葉である。直訳すると「それをあなた自身でやりなさい」。いたって単純明快な言葉の響きである。だが、この言葉の持つ意味は、幅広く、奥深い。

人間は、他の動物と異なり、手と頭を使い、より便利で、より快適な生活を創造することができる唯一の存在である。そして有史以来、この創造意欲をもって文明を進化させ、生活の向上をめざしてきた。すなわちDIYとは、自分で何かをやらうとする意欲と、それに伴う知恵や行動を意味する、人間生活の英知なのである。

## 暮らしに広がるDIY

DIYの目的は、広義にとらえれば、人間生活全般の向上にある。したがってその対象となる分野は「衣・食・住」の生活全般にわたるが、中でも住生活の分野を中心に広がってきたのがDIYである。

住生活の分野においても、DIYの目的は当初、住まいの修理や補修に向けられていた。しかし近年、住宅の進化、生活様式の変化に伴い「自らの手で快適な生活空間を創造」していこうという、より能動的な志向に変わってきた。

さらに今日では、ホビーやアウトドアなどの趣味の分野から、リペアやリフォームなどの実用の分野まで、DIYは幅広く浸透している。しかもDIYは、多様化する社会環境のなかで多面的な広がりを見せている。

デジタル社会にあって、手を使い、ものをつくる機会が少なくなった子どもたちへの体験教育として、暮らしに個性や変化を求める女性たちの新しい生活スタイルとして、自然災害から住まいと暮らしを守る防災対策として、高齢化社会での趣味や生涯学習として、地域社会でのコミュニティ活動として、DIYのフィールドは多岐に及ぶ。

DIYは今後、その時代の社会環境によって対象となる分野をさらに広げていくことが考えられる。



VR

仮想現実

AI

人工知能

IoT

モノのインターネット

## 高度に発達した情報社会にあって

著しいスピードで進展する情報通信技術は社会構造を変革した。しかしそれは一方、人間の在り方を改めて考えさせる社会状況を生み出している。

コンピューターで管理された社会。インターネットに覆われた社会。AIやロボットと共存する社会。バーチャル（仮想）とリアル（現実）が交差する社会。こうした社会で人間の根源的な「ものを創造する意欲」を大切にしたい、もうひとつの生き方（Way of Life）を提示している、きわめてオリジナリティの高い行為がDIYでもある。それは、機械文明に対する個人の復権をも意味し、豊かな人間生活を思考・創造しようという生き方の表れともいえる。



## 21世紀の「暮らしを変える力 DIY」

「産業社会」が作りだした大量生産・大量消費・大量廃棄はいま、さまざまな問題を投げかけている。地球温暖化対策、エコロジーの推進、循環型社会の形成等の諸問題は、世界各国共通の課題となっている。こうした時代状況にあって、DIYの意義が改めて見直されている。

もとよりDIYは「産業社会」とは別の「生活社会」から生まれた生活思想である。物や資源を大切に、地球環境や自然と共生するのがDIYなのである。

21世紀の社会が抱えるさまざまな問題に「生活社会」から生まれたDIYは「暮らしを変える」大きな力となっていく。「自分の暮らしを自分の手で変える力」「人間本来の機能を高める力」「創意と工夫で豊かな暮らしをつくる力」。21世紀の「暮らしを変える力 DIY」は、現在の、そして未来の人間生活をより豊かなものにしていく大きな牽引力となるであろう。